

鈴木式ガーター器説明書

特 長

このガーター器は

- (1) 全体をタツビー又は鉤針の代用と見てよいものです。
- (2) 使い方は手軽で至極簡単です。
- (3) 編み方の速度は従来の仕事より三十倍以上の速さです。
- (4) 動針型、並行型、対立型、どの型でも使用できます。
- (5) そして重りがあつても一向差支えありません。
- (6) 又他の補助金具を全然必要としませんので取付ける心配がありません。
- (7) 従つてメリヤス編の中にガーター編その他の編目の組合せが極く簡単にできます。
- (8) 従来 of ガーター編専門機より更に細かい編目もできます。(太い糸より極細一本取・レース糸迄)
- (9) このガーター器は二つの連結板になつてますから目数の少いものを編む時も便利です。

利 用 法

△ガーター編、及びガーター模様。

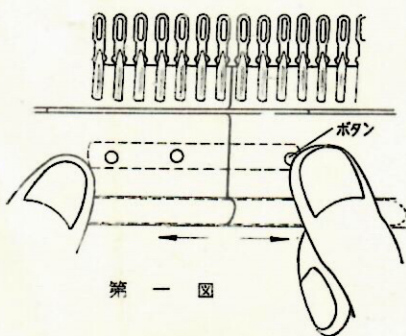
△編目を移動する時に使用します。(増目。減目。よせ目。縄編。レース模様)

△編機では出来ないとされている手編(棒針編)の編方も出来ます。

△編かけの製品を途中で表が見たい時。又は検討するのに便利です。

△作品を休止する時。又持ち運びの時に使います。

連結法と外し方

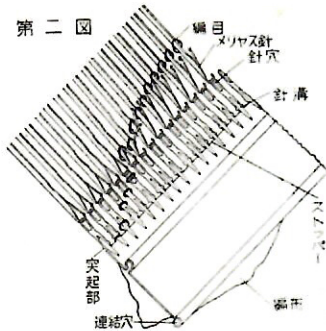


- (1) 連結法は左右の器具を差込みます。
- (2) 外し方は一図のように右端のボタンを押して左右に引きます。

使用法

第一操作

- (1) 第二図のようにガーター器の針溝を上向きにし針穴をメリヤス針に連結します。
- (2) 編目をガーター器の方へ移します。



この場合

△編目の突起部を越えてストツパーの点まで

そろへて移すことがコツです。

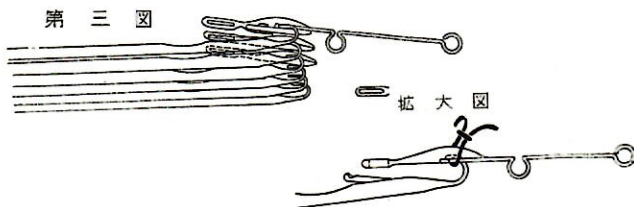
△少々編目が堅くて突起部を越えにくい時は針溝の上から手で編目を引きよせると楽に越します。

△特に編目が細かい時は（レース糸等）突起部を越さなくても結構です。

- (3) メリヤス針のペラを開いてガーター器を手前に下げて少し押すとペラが完全に開きましたらガーター器を抜きとります。

第二操作

- (4) ガーター器を裏返します。
- (5) 次に第三図及び拡大図を参照し、ガーター器側にある編目をメリヤス針にかけてガーター器を抜きとります。



この場合

△ガーター器の針溝をメリヤス針の頭の上のせガーター器を手前に少々引き（この時編目は全部メリヤス針の方に移つてゐます）つづいてガーター器を倒すようにして下に抜きとります。（ガーター器の針穴がメリヤス針にひつかからないようにします。

日本ガーター株式会社